



すぎさん

<http://www.suginami-school.ed.jp/sugi3shou/>

令和4年 10月号
杉並区立杉並第三小学校
〒166-0003 杉並区高円寺南1-15-13
TEL 03-3314-1564
FAX 03-3314-1449

究極の探究学習「自由研究」!

校長 森賀 慎一

2学期が始まって約一か月が過ぎました。始業式が始まってすぐの子どもたちは、久しぶりの学校に戸惑っている子もいましたが、今ではのびのびと学校生活を送っているように感じます。

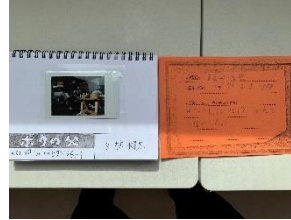
先日の9月の土曜授業では、3校時に6年生の子どもたちと本校CS委員の皆様と、杉並区教育委員会の方々と「熟議」を行いました。テーマは「みんなのしあわせを共に考えよう」でした。杉並区教育ビジョン2022で大切にしたい教育として掲げられている「みんなのしあわせ」について、ざっくばらんに話し合ってみました。杉三小が今年度取り組んでいる「新しい学校教育目標を創ろう」にもつながりそうな考えも出されました。また子どもたちが最初に考えてきた「自分にとってのしあわせ」が、多くの人の意見を聞くことで変化した様子も見られました。人との対話で自分の考えがより深まるという経験ができたという意味でも、充実した熟議が実施できたと実感しています。ご協力いただきました方々に改めて感謝申し上げます。

さて、昨年度の学校便りにも載せましたが、私は子どもたちの取り組む「自由研究」は究極の探究学習だと思っています。なぜならテーマや内容を自分で自由に決めてよく、取り組み方やまとめ方にも決まりはありません。自分が興味のあることを、好きなだけ時間をかけて自分なりの方法で調べたり作成したりできるからです。ただ、実際にご自分の小学生時代の経験やお子さんの今までの取組を観て来られて、そんなに素晴らしい自由研究なんて簡単にはできないよというのが、多くの方のご意見ではないでしょうか。私も勿論その通りで、自分の経験だけでなく4人の子どもたちの取組についてもあまり大きな声では言えませんが「あれれ?」といったものが多かったと記憶しています。

私が今回全ての自由研究を見させてもらい、「校長先生賞」を選んだ基準は次の3つです。

- ①興味をもった理由（ほんとに好きなんだなあ…）
- ②体験や実験（オリジナルだよなあ…）
- ③ねばり強さ（大変だったろうなあ…）

これらの視点をもとに、各学級から2名ずつ選ばせていただき、賞状をつくり、朝会で表彰させていただきました。紙面の関係で全員は紹介できませんが、いくつかお伝えいたします。



これは、3年外林凜空さんの「ボクの父」という作品です。お父さんが仕事で忙しく、なかなか一緒に過ごすことができないという理由から、お父さんの仕事を調べてみようと思立ったようでした。お父さんの仕事場まで出かけ、仕事内容を詳しく調べ、さらにそのお仕事を体験までさせてもらっています。その体験を通すことで、仕事の苦労や大変さを実感しているところが素晴らしいです。最後の感想に、「家に帰ってこないのは寂しいけど、2つの仕事をしていてとても忙しいことが分かった。好きなことを仕事にしている父は、とてもカッコいいと思った。僕もそんな父のようにになりたい!!」と書いていました。私も父の一人として、こんなこと言われたら泣いちゃうなと胸がジーンとしました。



これは、2年祖母井佳穂さんの「コーラの作り方」という作品です。コーラという飲み物に興味をもち、原液の材料を揃え、時間をかけて作っていました。そして炭酸水と割ったりかき氷のシロップとして活用したり、他の飲み物と混ぜたりしながらコーラを楽しんで味わっている様子が写真と文で伝わってきます。透明コーラを作りたいと考え、色々試しますがなかなかうまくいかず失敗の連続でも、あきらめずに取り組む姿が素敵です。その他、世界中にあるコーラの種類を調べたり、コーラに合うお菓子を考えたり、学びが広がっていきました。祖母井さんはこれ以外にも2つの研究に取り組んでいて、充実した自由研究への取組ができていて感心しました。

子どもたちの探究心に火をつけ、継続できるような環境を整えたり励ましの声をかけたりするのは、学校も家庭も同じではないかと思っています。学校でも子どもたちの探究学習が進められるように、工夫をしながら授業を計画しています。ぜひ来年度の自由研究、お子さんと一緒に楽しんでいただけると嬉しいです。

来週に迫った運動会、たくさんの皆様に応援いただけると子どもたちの励みになります。どうぞよろしくお願いたします。